

『ながのみらいラボ

～Challenge to the future～』

新型コロナウイルス感染症対策  
ガイドライン

## ◎ 当日自宅にて

自宅にて検温を行なってもらう。  
参加者本人、家族等に体温が37.5度以上の方がいる場合は欠席をしてもらう。  
※スタッフも同様の対策をとる。



## ◎ 当日会場にて

スタッフが参加者及びご家族の検温を行ない、  
体温が37.5度以上あった場合、参加を認めず会場内へは入れない。  
※スタッフも同様の対策をとる。



## ◎事業開始（屋内活動の場合）

厚生労働省の指針に従い、

- ・ ソーシャルディスタンス
- ・ こまめな換気
- ・ マスクの装着を行なう

また、

- ・ 正しい手洗い、
- ・ マスクの着用方法

の指導も行なう。

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願いします

# 「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

他の人と  
十分な距離を取る!



窓やドアを開け  
こまめに換気を!



**感染症対策** 新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

### ①手洗い 正しい手の洗い方

① 流水でよく手を洗った後、石けんを泡で手のひらをよこすります。  
② 泡の隅々まで入りこみます。  
③ 指先・指の側を擦りこみます。  
④ 指先・指の側を擦りこみます。  
⑤ 指先・指の側を擦りこみます。  
⑥ 指先・指の側を擦りこみます。

### ②咳エチケット 3つの咳エチケット

マスクを着用する（口・鼻を覆う）  
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う  
手で口・鼻を覆う

何れにせよ、咳やくしゃみをする

### 正しいマスクの着用

① 鼻と口の両方を確実に覆う  
② コムロを耳にかける  
③ 隙間がないよう鼻まで覆う

咳やくしゃみをする

石けんを洗い流した後は、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルなどでよく拭き取ってください。

首相官邸  
厚生労働省

厚労省 コロナ 検索

厚労省 フリーダイヤル  
0120-565653



## ◎事業開始（屋外活動の場合）

厚生労働省の指針に従い、熱中症予防対策のため、適切なソーシャルディスタンスを確保した上で、マスクを外してもらおう。（確保できない場合はマスク着用）  
また、こまめな水分補給を行ってもらおう。

熱中症予防 × コロナ感染防止で  
「新しい生活様式」を健康に!

「新しい生活様式」とは：新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③密集・密着・密接（密会、密接、密閉）を避ける、等を取り入れた日常生活のこと。

**注意** マスク着用により、熱中症のリスクが高まります  
マスクを着けると皮膚からの湿気が逃げにくくなり、蒸つかないようにも蒸れやすくなるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

熱中症を防ぐために  
**マスクをはずしましょう**

ウイルス感染対策は忘れずに!

屋外で  
人と2m以上  
(十分な距離)  
離れている時

十分な距離

（マスク着用時は）

激しい運動は避けましょう  
のどが痛いていなくても  
こまめに水分補給をしましょう

気温・湿度が高い時は  
特に注意しましょう



新型コロナウイルス感染症に関する情報：  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)  
熱中症に関する詳しい情報：<https://www.vbmt.or.jp/>



## ◎長野県の警戒レベルに応じた対応 (6月・8月・9月・10月開催のプログラム)

- **警戒レベルが1～3の場合**  
感染症対策をしっかりと行なったうえで、会場での開催とします。
- **警戒レベルが4の場合**  
その時の長野市の状況や長野市の方針によって判断し、外部協力者及び正副理事長と相談の上、開催方法を決定します。
- **警戒レベルが5以上の場合**  
参加者の安全を第一に考え、完全オンラインでの開催とします。

※詳しい対応は各プログラム内容に記載  
※その都度、臨機応変に対応することとします。

## ◎長野県の警戒レベルに応じた対応 (7月開催のプログラム)

### ● 警戒レベルが1～3の場合

感染症対策をしっかりと行なったうえで、会場での開催とします。

### ● 警戒レベルが4・5の場合

プログラム内容を短縮して開催。内容については。協力者及び正副理事長と協議の上、開催方法を検討します。

### ● 警戒レベル6の場合

参加者及び事業にかかわるすべての方の安全を考慮し、完全に中止とします。

※詳しい対応は、野外体験プログラムに記載  
※その都度、臨機応変に対応することとします。

## 【想定される新型コロナウイルス感染症の対応一覧（8月～10月）】

	8月	9月	10月	対応案
①	会場	会場	会場	新型コロナウイルス感染症も落ち着き、オンラインの心配がない場合 通常通りのプログラムを行ないます。
②	会場	会場	オンライン	新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきているが心配な場合 8月と9月のプログラム内容を交換し、相談の上開催。
③	会場	オンライン	会場	新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきているが心配な場合 8月と9月のプログラム内容を交換し、相談の上開催。
④	会場	オンライン	オンライン	新型コロナウイルス感染症の影響が予想される場合 プログラミングキットも視野にいれ、プログラム内容を相談し決定
⑤	オンライン	会場	会場	新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきているが心配な場合 8月は予定通りの内容をオンラインで行ないます。
⑥	オンライン	オンライン	会場	新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきているが心配な場合 8月9月とオンラインの場合は、完全にプログラミングキットでの対応とします。
⑦	オンライン	会場	オンライン	新型コロナウイルス感染症の影響が予想される場合 プログラムの順番は予定通りで、専門家の力を借りながらロボット制作を行なう。または、プログラムキットに変更。
⑧	オンライン	オンライン	オンライン	新型コロナウイルス感染症がレベル5以上が続く場合 プログラミングキットを完全に使用し対応する。

## 【上記一覧表の詳細】

パターン	警戒レベルの目安	詳細
①	1～3	通常通りの開催（内容も変更なく行なう）
②	3～4	8月は、グループごとロボットの組み立てを行なう 9月は、プログラミングの基礎を全体で学び、その後各グループでロボットにプログラミングをしていく 10月は、中継という形で自分たちの制作したロボットを見る（発表）
③	3～4	8月は、グループごとロボットの組み立てを行なう 9月は、オンラインでプログラミングの基礎を全体で学び、その後、各グループごとZoomでつなぎ、ロボットに覚えさせる動きを子どもたちが考え、それを遠隔操作のように専門家がパソコンに入力していく形で開催。 10月は、予定通りのプログラム内容を行なう
④	4～5	8月は、グループごとロボットの組み立てを行なう 9月は、オンラインでプログラミングの基礎を全体で学び、その後、各グループごとZoomでつなぎ、ロボットに覚えさせる動きを子どもたちが考え、それを遠隔操作のように専門家がパソコンに入力していく形で開催。 10月は、Zoomを使用し中継で制作したロボットを見ながら、プレゼンを行なう ※状況によっては、プログラミングキットでの対応も視野にいれ検討する
⑤	3～4	8月は、オンラインでプログラミングの基礎を学ぶ 9月は、グループでロボットの組み立てとロボットにプログラムを入れていく 10月は、予定通り仕上げとプレゼンを行なう ※基本、予定通りのプログラム順で行なう。ただし、9月10月については専門家のサポートを多めにさせていただく
⑥	4～5	8月は、オンラインでプログラミングの基礎を学ぶ 9月は、オンラインでプログラミングキットの使い方等を学ぶ 10月は、会場に自分の制作したキットを持参し、キットについて一人ひとりプレゼンを行なう。また、製作する予定だったロボットの見本をいくつかイーエムアイラボさんに用意していただき、動かしたりする体験を行なう。
⑦	4～5	8月は、オンラインでプログラミングの基礎を学ぶ 9月は、グループごとロボットの組み立てとロボットにプログラミングしていく作業をできるところまで進める 10月は、仕上げは専門家に行なっていただき、Zoomで中継の形で各グループで作ったロボットを見ながらプレゼンする
⑧	5以上	8月は、プログラミングの基礎を学ぶ 9月は、プログラミングキットについて学ぶ 10月は、Zoomで各自制作したプログラミングキットをプレゼンする



## ◎ **みらいテックでの新型コロナウイルス感染対策への対応まとめ**

- 6月のロボットを知ろうがオンラインの場合は、事前に動画で撮影したものを連絡共有ツールBANDで配信し、視聴してもらう。
- 7月の野外体験までに宿題を各自行ない、7月のプログラムの中でグループ討議の時間を作り、グループごと作るロボットを決める。なお、野外体験が完全中止となった場合は、各グループでZ o o mをつなぎ、作るロボットについてグループ討議を行ない、制作するロボットを決める。
- 8月～10月については、一覧表を参考に対応を決定していく。
- プログラミングキットの配布については感染症対策として、事前に所定の場所（J Cルーム）に期間を決め、その中で都合のつく時間を聞いてスケジュールを組み、各自取りに来ていただきます。
- **一覧表については、今のところ予想されるパターンと対応策になります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況は先が見えないため、その時の状況や子どもの様子などから、協力者や正副理事長と相談の上、開催内容は臨機応変に決めていくこととします。**

## ◎ **親向けセミナーでの新型コロナウイルス感染対策への対応**

- 親向けセミナーがオンラインとなった場合は、Z o o mにてセミナーを開催します。

## ◎ クラスターが発生した時の対応について

万が一、本事業においてクラスターが発生してしまった場合は、以下の対応を取るものとします。

- 参加者から新型コロナウイルス陽性者が確認された場合は、速やかに全参加者に情報を共有します。但し、個人を特定されない配慮をし、個人のプライバシーを厳守します。
- 本事業でクラスターが発生した場合は、運営者である長野青年会議所から速やかに全参加に通知すると共に情報共有を図ります。また、保健所の指示に従い運営者並びに、参加者の安全を第一に確保します。なお、保健所の指示に従い、必要に応じて直近で使用した会場にも連絡をし、適切な対応を取ります。